

近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所
資料配付

配布日時	平成23年11月28日 10時00分
------	-----------------------

件名	大滝ダムの試験湛水を開始します
----	-----------------

概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 大滝ダムは平成15年3月17日から試験湛水を開始しましたが、白屋地区において亀裂が確認されたため試験湛水を中止しておりました。 ● 白屋地区等の地すべり対策工事が完了しましたので平成23年12月15日より再度試験湛水を開始いたします。（開始日については、気象状況等により変更する可能性があります。） ● 平年並の降雨があれば平成24年5月上旬には満水となり、その後水位を低下させ、6月下旬には試験湛水が完了する予定です。
----	--

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 大手前記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 奈良県政記者クラブ 五條市政記者クラブ 和歌山県政記者クラブ
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川計画課長 吉田 一 亮（内線3611） 建設専門官 山本 佳也（内線3616） 電話：06-6942-1141 国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 副所長 河南 良男 電話：0747-25-3013（内線204）
------	---

大滝ダムの試験湛水を開始します

1. 経緯

- 大滝ダムは、平成 15 年 3 月 17 日から試験湛水を開始しましたが、白屋地区において亀裂が確認されたため、試験湛水を一時中止し、EL.258m まで水位を下げておりました。
- その後、白屋地区、迫地区、大滝地区の地すべり対策工事を実施し、この度対策工事が完了したため、試験湛水を開始します。

2. 目的

- 通常の管理に移行する前に、ダムの計画上の満水位（EL.323m）以下の範囲内で、貯水位を上昇および下降させ、ダム本体、基礎地盤および貯水池周辺の斜面の安全性を確認します。

3. 湛水開始年月日

湛水開始 : 平成 23 年 12 月 15 日

(気象等の状況により変更する可能性があります。)

※ 平年並の降雨があれば平成 24 年 5 月上旬には満水となり、その後水位を低下させ、6 月下旬には試験湛水が完了する予定です。

4. 試験湛水の内容

- ① 原則 1 日 1m 以内で、貯水位を上昇させ、ダムの計画上の満水位である EL.323m まで水位を上げます。
- ② ダムの計画上の満水位 EL.323m で 24 時間水位を保持し、ダムの堤体、基礎地盤および貯水池周辺斜面の安全性を確認します。
- ③ 安全確認後、1 日 1m を限度に貯水位を低下させ、ダムの計画上の最低水位（EL.271m）まで低下させて試験湛水を完了させます。
- ④ 試験湛水期間中は、ダム本体及び貯水池周辺斜面の状況の観測や点検を行い、安全性に十分留意して実施します。

5. その他

- 台風 12 号による出水で貯水位が上昇した EL.286m までは貯水池周辺斜面の安全性が確認されたため、11 月 21 日よりゲートを閉める作業に着手して貯水位を上げております。
- 試験湛水中の貯水位の状況は紀の川ダム統合管理事務所のホームページにて公開します。

大滝ダムの現状



大滝ダム堤体下流側（平成 23 年 11 月 22 日撮影）



大滝ダム堤体上流側（平成 23 年 11 月 22 日撮影）

地すべり対策工の概要

- ・ ^{しらや}白屋地区 (H22年3月撮影)



押さえ盛土工	約 46 万 m ³
鋼管杭工	122 本
アンカー工	169 本
集水井工	6カ所

- ・ ^{さこ}迫地区 (H23年3月撮影)

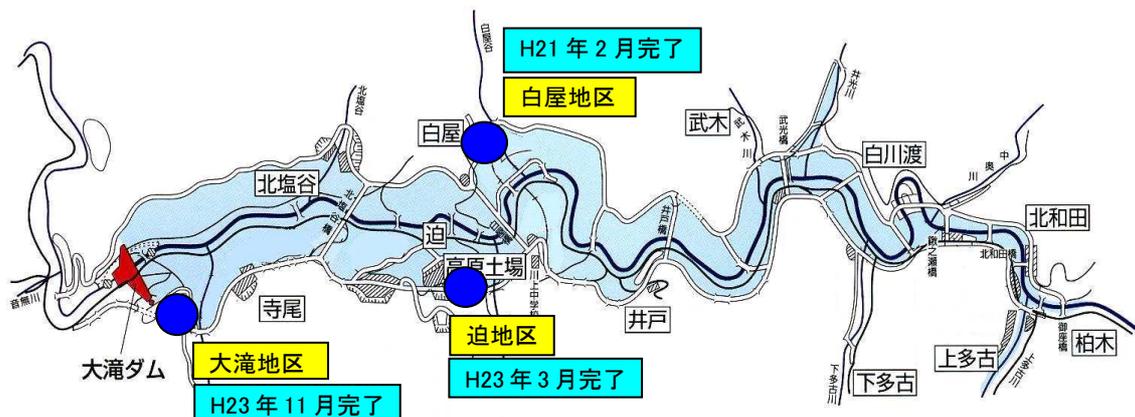


押さえ盛土工	約 12 万 m ³
アンカー工	123 本

- ・ ^{おおたき}大滝地区 (H23年11月撮影)



押さえ盛土工	約 21 万 m ³
鋼管杭工	64 本



地すべり対策工位置図